

生長の家創始者
谷口雅春先生を学ぶ会

“倉敷誌友会”に 33名の仲間が集まり発会！



よろこび溢れる記念撮影（前列左から5人目が佐藤時夫誌友会責任者。その右側は板垣雅勝全国講師、梶原康男誌友会顧問、上野耕治副代表。

倉敷の地に真理の燈台が誕生!!

—谷口雅春先生ご誕生一三〇年の年

去る令和5年11月12日、岡山県倉敷の地に、新たに真理の燈台「谷口雅春先生を学ぶ会倉敷誌友会」（責任者佐藤時夫元講師会長）が誕生しました。

倉敷はかつて生長の家の青年会運動が燃え上がったところであり、「伝道の倉敷」といわれた所。老松町の「ホテル1・2・3」を会場として開催された記念すべき第1回誌友会には33名の仲間が集まり、盛大な出発となりました。

続々と集まる参加者

誌友会当日は、開会時刻前から参加者が続々と集まり始め、午後1時40分、聖歌「宇宙莊嚴の歌」の斉唱を以て開会となりました。

副責任者として発会に奔走した新谷修一元教化部事務局長の「開会の祈り」に続いて「開会の挨拶」に立った責任者の佐藤時夫元講師会長（74歳）は、「発会を決意してからわずか20日間。新谷修一さん、高塚満壽子さんと一緒に準備を進めて参りました。倉敷の大先輩である梶原康男先生の後ろ盾もいただくことができました。志を同じくする県下の多くの仲間にもご賛同いただきました」と感謝を述べつつ、「み教えに出会って50年。私にとっては最後のご恩返し。今日この日を皆さんと共に心に残る記念すべき日、出発の日としたいと思います」と結びました。

続いて、島根県の井田光晴出雲支部長からの祝電が披露され、学ぶ会中高生活動対策部長の東由佳さん、岡山市在住の小村治子さん（新教育者連盟岡山支部長）による感動的な体験発表が行われました。

そして、板垣雅勝全国講師による「幸福を招く先祖供養」と題する記念講演、並びにメイン行事である「先祖供養祭」が厳かに執り行われました。

その後よろこびの座談会、上野耕治副代表による結語講話へと進み、倉敷誌友会の顧問にご就任くださいました元岡山県教化部幹事・壮年対策部長の梶原康男講師より「激励の言葉」を賜りました。

御年84歳の梶原講師は、約10年前に脳梗塞で倒れる大病を患いながらも、徹底した神想観、聖経「甘露の法雨」「天使の言葉」「続々甘露の法雨」の読誦により自然と言葉が出るようになり、現在、毎年奥様と一緒に学ぶ会の全国大会に参加されています。

挨拶の中で梶原講師は、「今回の誌友会で何よりも嬉しかったことは、大勢で聖経を誦げたことです。私は谷口雅春先生のお写真を拝するだけで涙が溢れてくるのですが、谷口雅春先生から教えられたことで一番心に残っているのは、**“生長の家は一流ですよ”**とのお言葉です。私はそのお言葉を支えに、“人間神の子無限力”を心で唱え、仕事でも何でも一流を目指してやって参りました。どうか皆さんも一流を目指して頑張ってください。皆さんにまたお会いしたいと思います」と優しく語りかけられました。

最後に、「閉会の挨拶」、「閉会の祈り」、聖歌「使命行進曲」を大合唱し、倉敷誌友会の前進を全員で誓い合いました。

参加された方々のよろこびの声

それでは、座談会での発表や、その後寄せられた「よろこびの声」を紹介します。



家庭再建、祖国再建の礎となる「先祖供養祭」



大いに盛り上がった「よろこびの座談会」

○永瀬澄香さん(倉敷市)

私達夫婦は、梶原康男先生が披露宴の司会をして下さいました。このたび倉敷の大先輩である佐藤先生が誌友会を発会される聞き、大変嬉しく是非協力させて頂きたいと思っております。

できるように明るく前進致します。(永瀬さんは、川崎医療福祉大学の元教授であり、青年会時代は岡山教区の女子部長として活躍されました。又、本年7月に大阪の教義実践講座、9月に全国練成会に参加され、今回の誌友会を機に、倉敷の地に「輝く女性と母親の会」の発会を決意されました)

○谷本須満子さん(総社市)

人生には「上り坂、下り坂」そして「まさか」という坂があるとわかってはいますが、五年前、西日本豪雨で家を失った時は、本当にそのとおりだなあと思いました。しかし、御先祖様に守られて、その先に「いや坂(弥栄)」があったことを実感しています。今は本当に幸せです。

○喜多村明徳さん(倉敷市)

祖父の代から生長の家は三代目です。単身赴任していた大阪から、昨年倉敷に戻ってきました。ある時、車に子供を乗せて走行中、事故に巻き込まれそうになりましたが、その直前に奇蹟的に事故を回避することができました。御先祖様の御守りによるものと心から感謝しています。

○高塚満壽子さん(倉敷市)

聖經読誦と先祖供養で、色々なお陰を頂いています。一年前、米子から倉敷に引っ越ししてきて、大阪での教義実践講座に参加し、このたび佐藤さんと誌友会の発会に向けて準備を進めて参りましたが、こんなに大勢の方がご参加くださったことにびっくりし、感動しています。

○藤森真澄さん(井原市、「光明日訓」の揮毫者)

平成5年2月2日の大雪の日、主人がバス停でバスを待つていたところ、スリップしてきた自動車にはねられ頭部に重傷を負いました。99%助からないと宣告されましたが、信徒の皆様による聖經の集団読誦等により奇蹟的に回復し、その後19年生きてくれました。霊牌供養や周囲の人々への徹底感謝とともに、「相手を恨んではいけない」との教えを実践できたことがよかったのだと思います。昨年「光明日訓」の揮毫をさせて頂いていますが、日訓の言葉を写経のように書き写していらっしゃる方がいらつしやると聞き、お役に立たせていただいていることに喜びと勇氣を感じています。

○三宅俊明さん(山口県から参加)

一カ月前、学ぶ会本部で「先祖供養指導者研修」を受けました。今回は、現場での実際のみ祭りを勉強したいと思いましたが、参加して本当によかったです。自信になりました。



前進を誓い合い 聖歌「使命行進曲」の大合唱

令和5年12月度 倉敷誌友会のご案内

日時

12月14日(木)
13:30 ~ 15:30

会場

倉敷天満屋 6階第3会議室
(倉敷駅東ビル / 倉敷市阿知 1-7-1)

講師

生長の家社会事業団講師 元岡山教区講師会長 **佐藤時夫** 講師

☆先祖供養の実修を行いますので、れいはい霊牌をお持ちの方はご持参ください。

会場アクセス



主催 **谷口雅春先生を学ぶ会倉敷誌友会**〔誌友会責任者、連絡先 (佐藤時夫)〕
090-9730-0120 倉敷市酒津 2331-1-101 wakanokaiokayama@yahoo.co.jp (佐藤)
後援 **公益財団法人生長の家社会事業団**